

## IV. 參考資料

(募集要項)



2024年度

# JICA北海道教師海外研修 募集要項

# Zambia

～ 今だからアフリカ!  
世界一贅沢な  
授業作りの旅へ ～

JICA北海道・東北合同開催

→今だからアフリカ!の理由は6ページ目へ!



## ザンビア共和国研修内容(案)

- 学校訪問、児童/生徒/教員との交流・インタビュー
- 地域住民との交流・インタビュー
- JICAプロジェクト現場視察、JICA海外協力隊現場視察  
NGO活動現場視察

募集人数：北海道教員8名、東北教員8名

※本募集要項は北海道教員を対象

### 応募方法および応募締切

所定の用紙に必要事項を記入の上、設問への回答とともに『4.申し込み・問い合わせ先』宛に  
2024年5月24日(金)17:00(必着)までにメール、郵送、もしくは直接JICA北海道(札幌)まで提出ください。  
2024年6月7日(金)までに選考結果を通知する予定です。

主 催：独立行政法人国際協力機構(JICA)  
担 当 機 関：JICA北海道  
後 援：外務省、文部科学省、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

## 訪問国ザンビア共和国の基本情報

国名：ザンビア共和国

首都：ルサカ

言語：英語(公用語)、ベンバ語、ニャンジャ語、トンガ語

宗教：キリスト教(8割近く)、イスラム教、ヒンドゥー教、伝統宗教、その他

民族：73部族(トンガ系、ニャンジャ系、ベンバ系、ルンダ系)

面積：752,61千平方キロメートル(日本の約2倍)

人口：2,001万人(2022年：世銀)

教育：ザンビアの義務教育は、7歳から始まる初等教育(小学校)7年、中等教育(中学校)5年の計12年。

公用語は英語であり、他に73の民族語が話されていますが、学校教育では小学4年生時に母国語から英語での授業に切り替わります。

※データは外務省HPを参照し、記載(2024/4/12現在)



### 1：研修のねらい

本研修は、実際に開発途上国を訪問し、開発途上国の現状・課題、日本との関係、国際協力の現場を体験することで開発教育/国際理解教育について理解を深め、継続的に実践を行うことをねらいとしています。

また、研修参加者同士の意見交換や知見の共有を通して、研修後も継続してJICA北海道(札幌/帯広)と協力し、教育現場においてさらなる開発教育/国際理解教育の推進を図っていただくことも目的としています。

参加者は、事前・帰国後の国内研修と、開発途上国への海外研修を通じて、現地で得られる情報・素材を活用した指導案の作成とその授業実践を行っていただきます。また、広く教育関係者へ開発教育/国際理解教育の重要性を発信するために、成果報告会を実施します。

### 2：参加資格

- ① 北海道内の国立/私立の小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・高等専門学校・特別支援学校に勤務する教員で(ア)授業もしくはクラブ活動等で国際理解教育を実践中、今後も継続する意思と計画がある方、または(イ)現在実践はしていないが、今後JICAと連携・協力しながら開発教育/国際理解教育の普及促進に貢献する意欲と計画がある方 ※今後、長く教育現場で実践できる方が望ましい
- ② 所属する学校長からの推薦がある方
- ③ 開発途上国での研修旅行に耐えうる健康状態の方
- ④ 本研修の趣旨・目的を十分理解し、海外現地研修及び国内で実施される事前・帰国後研修、成果報告会の全日程【3.研修日程(予定)参照】に参加可能、かつ積極的に取り組める方
- ⑤ 帰国後、2024年11月下旬までに本研修で作成した指導案に基づき、勤務校等にて授業実践ができる方
- ⑥ 必要提出物をJICAが設定する期限までに提出できる方
- ⑦ 研修報告書及び授業実践報告、研修中(事前・帰国後を含む)や、勤務校等での実践授業の様子を撮影した写真/映像をJICA事業広報のために使用することに同意できる方
- ⑧ 原則として、過去にJICA教師海外研修、JICA海外協力隊、JICA専門家、ODA民間モニター、国際協力レポーター等、外務省やJICAから海外に派遣された経験のない方 ※教師国内研修参加者については応募可
- ⑨ 将来的にJICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能な方
- ⑩ 連絡可能なメールアドレスを所有し(携帯メール不可)、JICAが管理するSNSやメーリングリストに登録可能な方 ※研修に係る情報共有や帰国後のネットワーク等にて活用

## 3：研修日程(予定)

研修事項	場所	日程	内容
第一次事前研修	オンライン 合同研修	2024年 6月22日(土)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆国際協力の意義、現状と課題</li> <li>◆開発教育の目的、現状と課題</li> <li>◆教師海外研修の概要説明</li> <li>◆研修中の健康・安全管理、旅行保険等について</li> <li>◆JICA北海道・東北顔合わせ</li> <li>◆訪問国事情</li> <li>◆ザンビアの概要、研修日程についての説明</li> <li>◆海外研修を踏まえた指導案作成・授業実践について</li> </ul>
第二次事前研修	調整中	2024年 7月13日(土)、14日(日)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆旅程確認、現地での活動準備、渡航手続き等</li> <li>◆開発教育/国際理解教育指導者研修【実践編】</li> </ul>
出国前研修 /海外研修	東京・ ザンビア 共和国	2024年 7月27日(土)～ 8月5日(月)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆JICA北海道・東北第二次事前研修の情報共有</li> <li>◆学校訪問、児童/生徒/教員・地域住民との交流やインタビュー、JICA海外協力隊活動視察、JICAプロジェクト現場視察、NGO活動現場視察等</li> </ul>
帰国後研修	調整中	2024年 9月上旬～中旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆指導案検討会</li> <li>◆研修参加者は指導案を作成、他の研修参加者および関係者と指導案を共有、意見交換</li> </ul>
授業実践	各所属校	2024年9月上旬～ 11月下旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆各所属校にて授業実践</li> <li>◆アドバイザー、JICA職員による授業モニタリング</li> </ul>
成果報告会	調整中	2024年12月～ 2025年1月初旬	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆成果報告会を一般公開し、研修参加者の研修報告および授業実践報告を行う</li> <li>◆開発教育/国際理解教育指導者研修【共有編】</li> </ul>
成果品の作成		2025年3月末	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆研修参加者の海外研修報告書および授業実践報告書を基に成果品として学部向け報告書を作成し、関係者に配布(電子版および簡易製本版)</li> </ul>

## 4：申し込み・問い合わせ先

〒003-0026 北海道札幌市白石区本通16丁目南4-25 JICA北海道(札幌)内  
公益社団法人 青年海外協力協会 教師海外研修担当 (JICA業務委託先)

TEL：011-866-1515 FAX：011-866-1516

Email：hokkaido@joca.or.jp

## 5：参加費用

区分	個人負担経費	JICA負担経費
国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ パスポート取得にかかる費用</li> <li>◆ 事前・帰国後研修、成果報告会参加における食費等</li> <li>◆ 予防接種費用(黄熱病等)</li> <li>◆ その他、個人的な費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 事前・帰国後研修、成果報告会参加のための国内移動(自宅から研修場所)にかかる旅費</li> <li>◆ 事前・帰国後研修、成果報告会にかかる宿泊費(超過分は個人負担) ※研修当日、居住地の都合により、早朝深夜の移動となる方のみ対象</li> <li>◆ 海外研修への国内移動(自宅～羽田もしくは成田空港)にかかる旅費、空港使用税 ※交通費、宿泊費はJICA規定に基づきお支払いします。(経済経路)</li> </ul>
海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 海外研修中の食費および宿泊費 (全旅程で12万円程度。為替相場により変動する場合があります。)</li> <li>◆ 追加保険の加入費用</li> <li>◆ その他個人的な費用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 訪問国(ザンビアを予定)への入国に必要な査証申請のための費用</li> <li>◆ 往復航空運賃および燃油サーチャージ</li> <li>◆ 羽田もしくは成田空港および海外での空港使用税</li> <li>◆ 往復航空券手配にかかる手数料</li> <li>◆ 海外旅行損害保険加入費</li> <li>◆ 現地視察に必要な費用(車両備上等)</li> </ul>

## 6：その他、注意事項

- ◆ 本研修には、ツアーコーディネーターは同行しないことから、ご自身で情報収集をしていただく必要があります。
- ◆ 参加者の研修中の扱い(年休/研修等)については、所属先の判断によりますので、ご自身でご確認をお願いします。
- ◆ 本研修では、JICAにおける労災保険等の適応はありません。所属先の業務出張扱いで参加される場合は、各所属先の責任において、参加期間中の公務上災害に対する補償処置を行ってください。
- ◆ 研修の参加者として選考された後においても、JICAの指示に従わない方、他の参加者へ迷惑をかける方、研修プログラムに参加できない方、期日までに提出物の提出ができない方については、国内外での研修期間を問わず、研修参加者としての資格を失うことがあります。特に海外研修中に研修対象者としての資格を失った場合、旅費・滞在費等にかかるキャンセル料等は、全額自己負担となります。また、帰路の旅費も自己負担となりますので、ご了承ください。
- ◆ 海外研修中に事故が起きた場合、海外旅行保険の範囲内において補償します(国内での研修は除く)。
- ◆ 研修実施国の諸事情により、予定していた研修プログラムが変更になる可能性があります。
- ◆ 本研修を通じて作成・提出いただくレポートや写真等の資料一式は研修参加者間の相互の学びのため、全研修参加者に共有いたします。また、広く他の教員の方々にもご参照・ご活用いただけるよう、JICAのHP、メールマガジン、その他各種広報誌等を通じてご紹介させていただく場合がございますので、可能な範囲でご協力をお願いいたします。
- ◆ 応募時にいただいた個人情報、利用の可否を確認のうえ、本研修以外のJICAの研修やイベントの情報提供に使わせていただく場合があります。いただいた個人情報は、JICAの内部規程(個人情報保護に関する実施細則)に基づき、適切に管理いたします。
- ◆ JICAの開発教育/国際理解教育及び研修のさらなる充実、改善に生かすため、参加者の研修後の開発教育/国際理解教育への取組について、後日アンケートを実施しますので、回答へのご協力をお願いいたします。

## 教師海外研修の流れ

参加決定から成果報告会まで研修の流れをご紹介します。



### 海外研修に向けた準備

派遣前研修では、訪問国の現状、開発課題等への理解を深めると共に、現地研修での「視点」について考えます。

また、国際理解教育指導者研修に参加いただき、研修後の授業立案や実践のためのスキルアップを図ります。



### 海外研修

学校訪問、JICAプロジェクト現場の視察、JICA海外協力隊との意見交換、現地の人々との交流等を通じて、訪問国の現状、そして、開発途上国をとりまく状況について様々な角度から考えます。



### 授業実践に向けた準備

帰国後研修では、訪問国で得た体験や資料をもとに指導案を作成し、意見交換をしながら検討を重ねます。



### 授業検討

海外研修の成果を形にする過程を通して、教員間の生きたネットワークをつくることができます。



### 授業実践

国内外での研修を通じて作成した指導案に基づき、各所属校において授業実践を行い、指導案の更なる改善を図ります。

### 成果報告会

国内外での研修、授業実践を行った成果を教育関係者や一般の市民を対象とした報告会を行います。

※過去の参加者による指導案はQRコードよりご参照ください。  
2021、2022年度は代替研修として国内研修を実施しました。



★国内研修



★海外研修

## 2023年度参加者の感想

「参加してよかったことは  
何ですか？」

いろいろな職種や  
校種の方と出会えた！  
普段ではできない  
つながりがもてました。

アクティビティの  
手法を知れたこと。

海外の視点から、  
日本を見直すきっかけ  
になった！



人生において  
教材づくりを主眼に  
旅をすることは  
まず起こり得ない！

異文化理解の楽しさを  
改めて実感して、  
子どもたちに  
伝えられたこと。

なぜ、「今だからアフリカ」なの？  
アフリカの開発をテーマとする国際会議  
『アフリカ開発会議(TICAD)』が去年  
30周年を記念し、日本でさまざまなイベントを行いました。  
次回の会議(TICAD 9)は2025年の8月に横浜で開催予定と、  
今、日本のアフリカ熱が高まっています！

## アフリカの推しポイント



【アフリカ布】

東アフリカでは「カンガ」、  
西アフリカでは「パーニュー」と呼ばれています。  
スカートから赤ちゃんのおんぶ布(紐)など、  
使用用途はさまざま。  
奥深いアフリカ布は教室で話題になること間違いなし！



【アフリカ料理】

現地に行って、初めて食べたときの感想をメモし、  
最後に同じものを食べたときの感想と比較するのは  
いかがでしょうか。  
アフリカ料理は絶品！食べた後に力が湧いてきます。  
食べ方を覚えるのも大事！



【アフリカ楽器】

素朴な材料で音を奏でる楽器は、  
創意工夫がこなされていて学ぶところが大きい！  
エコで楽しめる教材です。

(応募用紙)

## JICA北海道 2024年度教師海外研修 応募用紙

ふりがな			生年月日	年齢
氏名			年 月 日	歳
自宅住所	〒			
電話番号 (固定)		電話番号 (携帯)		
E-mailアドレス (携帯メール不可)				
ふりがな			職階	教諭 ・ 主幹教諭
所属学校名 (正式名称)			担当教科 学年	その他 ( )
学校住所	〒			
電話番号		FAX番号		
趣味・特技				
Q. 以下の設問について□に✓チェックしてください。				
1. 研修全日程への参加について健康上の問題はないでしょうか。			□ はい □ いいえ	
2. 対面・オンラインで実施される研修の全日程に参加できますか。			□ はい □ いいえ	
3. 本研修で作成した指導案を基にした授業を2024年11月下旬までに所属校で実践できますか。			□ はい □ いいえ	
4. 指導案及び研修報告書をJICAが設定する期日までに提出できますか。			□ はい □ いいえ	
5. 研修後に、JICAが実施する国際理解教育支援事業での講義等の協力が可能ですか。			□ はい □ いいえ	
JICAの国際理解教育支援プログラムを活用されたことがある方は以下の□に✓チェックしてください。				
□ ①ほっかいどう地球ひろば訪問		□ ②国際協力出前講座		□ ③中・高生エッセイコンテスト
□ ④研修員・道内在住の外国人による学校訪問		□ ⑤国際理解教育セミナー		□ ⑥その他( )
現在治療している傷病、 もしくは日常的に服用している薬がある	過去教師海外研修の参加経験		写真 (4cm×3cm)	
□ある □ない あると答えた方は詳しくお書きください。	□ ある _____年 □ ない			
私は研修の概要、募集要項記載事項をすべて承諾し、この研修への参加を申し込みます。			写真裏面に氏名を記入	
2024年 月 日 署名			Ⓜ	

応募書類においてご提供いただいた個人情報は、本研修の選考および派遣業務のみに使用します。また、当該情報は当機構にて厳重に管理し、正当な理由なく第三者への開示、譲渡および貸与することは一切ありません。ただし、当機構との間で機密保持契約を締結した第三者に対し、本研修に関する業務を委託する場合を除きます。



(2024年度 JICA 北海道国際理解教育セミナー入門編)



2024年度 JICA北海道 国際理解教育セミナー【入門編】



自分と世界の繋がりに気づく！  
目からウロコのワークショップ

# マジカルバナナv3 (ザンビア編)



高校生  
以上

定員  
25名

参加  
無料

教材：マジカルバナナv3 (特定非営利活動法人 地球の木)

身近な果物バナナを通じて、生産者の生活やグローバルな経済をはじめ、流通の仕組みを知り、私たちの消費活動と生産者の人々の暮らしを結びつけて考えるワークショップです。

開発教育/国際理解教育に興味のある一般の方（高校生以上）、学校教員、教師海外研修に興味のある方、どなたでもご参加いただけます！



## セミナーの流れ

- 13:30 受付開始
- 14:00 【アイスブレイク】
- 14:15 【ワークショップ】マジカルバナナv3 (ザンビア編)
- 15:20 【振り返り】
- 15:55 アンケート お知らせ 写真撮影

日時 2024年 5月18日(土) 14:00-16:00

場所 JICA北海道センター(札幌)  
札幌市白石区本通16丁目南4-25

申込はこちら！

申込締切 5月15日(水) 17:00



申込方法 右のQRコードから必要事項をご入力ください。 <https://x.gd/lptTF>

後援：北海道教育委員会、札幌市教育委員会

詳細はJICA北海道HPをご覧ください。

お問い合わせ 公益社団法人 青年海外協力協会 (JICA業務委託先)  
TEL : 011-866-1515 MAIL : hokkaido@joca.or.jp



(2024年度 JICA 北海道国際理解教育セミナー実践編)

2024年度 国際理解教育セミナー【実践編】

独立行政法人 国際協力機構

札幌国際交流館

# もしも、 あなたが 教材をつくるなら



視野を広げ教材に結び付けるワーク

講師の海外経験をもとに作られたワークショップで、  
新しい視点が生まれるかも！

講師の方が実際に開発途上国へ足を運んで作り上げた教材でワークショップを行います。マッチングゲーム、ミステリーバッグ（とは?!）、ロールプレイを体験して「こうやって教材を作ると、こんな効果があるんだ」という驚きや発見があなたを待っています！一緒にワークショップを体験しませんか？

申込はこちら！

申込×切 7月11日(木)



QRコードから必要事項を  
ご入力ください。

高校生以上

定員30名

参加無料

日時

2024年  
7月13日(土)  
13:00~15:20

場所

リフレサッポロ  
(ライラックホール)  
札幌市白石区本通16丁目南4-26



当日の流れ

13:00 開始 (受付: 12:45~)

13:10 【アイスブレイク】

13:20 【ワークショップ①】

佐久間みのり教諭(小学校)

14:10 【ワークショップ②】

柴田峰子教諭(中学校)

15:05 振り返り

15:20 アンケート お知らせ 写真撮影

マッチングゲーム

ミステリーバッグ

ロールプレイ



共催: JICA北海道/札幌国際交流館(リフレサッポロ)

詳細はHPをご覧ください

お問い合わせ

公益社団法人 青年海外協力協会(JICA業務委託先)  
TEL: 011-866-1515 MAIL: hokkaido@joca.or.jp



(2024年度 JICA 北海道国際理解教育セミナー共有編 オモテ面)



北海道の教員8名が、ザンビアを素材に授業づくりを行いました！

1.11 13:00~17:30 SAT

JICA北海道 (帯広)

〒080-2470 北海道帯広市西20条南6丁目1-2

お問合せ先

公益社団法人 青年海外協力協会

☎ 011 - 866 - 1515

対象

開発教育／国際理解教育や教師海外研修に興味のある学校教員・一般の方 (高校生以上)

開催方法

対面 or オンライン (40名) (制限なし)

お申し込みはこちら

1/8 (水) 締切 12:00



✉ hokkaido@joca.or.jp

(2024年度 JICA 北海道国際理解教育セミナー共有編 ウラ面)

気になる授業を**選んで体験!**

# 当日のプログラム



成果報告会スタート!

13:00 ~ 13:25

### 本研修の概要 (授業づくりの視点から)

音更町立木野東小学校 杉村萌 教諭

13:25 ~ 14:25

学活・保健体育・総合

### 模擬授業体験①

「健康な生活のために ~ Health Living I see you ~」

中富良野町立中富良野小学校 平山将典 教諭

14:30 ~ 15:30

道徳

### 模擬授業体験②

「マフンジロが世界を変える?」

標茶町立標茶中学校 小坂橋祥記 教諭

15:35 ~ 16:05

### 教材紹介セッション①

room A

room B

総合的な学習の時間

「世界の水とわたしたちの暮らし」

鹿追町立鹿追小学校 川上光陽 教諭

総合的な学習の時間

「自分たちの生活を見直そう」

当別町立西当別中学校 中尾綾香 教諭

16:10 ~ 16:40

### 教材紹介セッション②

国際理解・総合

「この問題を解決すれば済む問題?」

帯広商業南高等学校 青山紘子 教諭

生活単元学習

「ザンビアマスターになろう!」

北海道札幌聾学校 松村秀明 教諭

16:45 ~ 17:15

### 教材紹介セッション③

道徳・学活・国語

「ほかのくにの 人たちと」

音更町立木野東小学校 杉村萌 教諭

総合学習

「ザンビアの魅力とこれからの課題

~ ニムコンダアフリカ ~

北海道千歳高等学校 田中真 教諭

17:15 ~ 17:30

参加者の方々からの感想

アドバイザーからのコメント

Break Time  
5分

Break Time  
5分

Break Time  
5分

Break Time  
5分

お気軽にご参加ください☆

途中  
入退出  
OK!

セッションごとに  
好きな授業を選択  
※途中変更できます

終了。おつかれさまでした。



JICA 北海道教師海外研修



JICA 北海道教師海外研修  
実践報告集



JICA 東北教師海外研修

